

2016年2月 一般財団法人 潤和リハビリテーション振興財団
潤和会記念病院 治験審査委員会 会議の記録の概要

開催日時	2016年2月8日(月) 17:33 ~ 18:10
開催場所	一般財団法人 潤和リハビリテーション振興財団 潤和会記念病院 小会議室
出席委員名	野津原 勝、水田 雅也、黒木 直哉、浜砂 しのぶ、高松 秀和、吉村 博、 宮脇 宏昌
議題及び審議結果を含む主な議論の概要	<p>【審議事項】</p> <p>議題 塩野義製薬株式会社の依頼による慢性腰痛症患者を対象としたS-8117の継続投与試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該治験薬で発生した重篤な副作用等症例について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 <p>審議結果：承認</p> <p>議題 第一三共株式会社の依頼によるDS-5565 第 相国際共同試験 アジアにおける帯状疱疹後神経痛を有する患者を対象にした14週間のプラセボ対照無作為化二重盲検試験及び52週間の非盲検長期試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該治験薬で発生した重篤な副作用等症例について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 ・治験実施計画書改訂に基づき、引き続き治験を継続することの妥当性について審議した。 <p>審議結果：承認</p> <p>議題 エーザイ株式会社の依頼による難治性部分発作を有するてんかん患者を対象とした他剤併用時におけるperampanel (E2007) の有効性及び安全性を評価する、二重盲検プラセボ対照並行群間比較試験(非盲検継続投与期を含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該治験薬で発生した重篤な副作用等症例について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 ・治験実施計画書改訂に基づき、引き続き治験を継続することの妥当性について審議した。 ・治験期間が1年を超える為、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。 <p>審議結果：承認</p>

	<p>議題 久光製薬株式会社の依頼による パーキンソン病患者を対象としたHP-3000の第 相長期投与試験 L-DOPA併用パーキンソン病患者を対象としたHP-3000の第 相並行群間 比較試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該治験薬で発生した重篤な副作用等症例について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審議結果：承認 <p>議題 大日本住友製薬株式会社の依頼による パーキンソニズムを伴うレビー小体型認知症患者を対象とした AD-810Nの検証的試験〔第3相試験〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該治験薬で発生した重篤な副作用等症例について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 ・治験実施計画書の改訂、被験者の募集手順に関する資料の追加、 治験参加カードの改訂に伴い、 引き続き治験を継続することの妥当性について審議した。 審議結果：承認 ・治験期間が1年を超える為、治験を継続して行うことの妥当性について 審議した。 審議結果：承認
特記事項	特になし